



北方領土

平成29年3月(第5号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

平成28年度総会及び講演会の開催【平成28年6月9日】

福島市の杉妻会館で平成28年度総会を開催し、平成27年度の事業報告及び収支決算、平成28年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

また、総会では、本県民会議の顧問を務める福島県市議会議長会会長(会津若松市議会議長)の目黒 章三郎 氏が、政府に対し、対露交渉を一層推進して平和条約の締結に向けて更なる外交努力を尽くすよう求めるとともに、県民意識の高揚を図って政府の交渉を後押しするため、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくとした北方領土の早期返還の実現に向けた決議文を読み上げ、満場一致で採択されました。



総会の開催に当たりあいさつをする小林会長



決議文を読み上げる目黒顧問



講演をする荒川氏

総会に引き続き、独立行政法人北方領土問題対策協会理事長の荒川 研 氏を講師にお招きして、「北方領土問題について」と題した講演会を実施しました。

講演では、北方領土返還要求運動の取り組みや理事長自身が見聞きした関係者の裏話など興味深いお話があり、参加者からは「日常生活の中では話題にならない大切な問題で、わからなかった話を聞いて良かった」等の感想が寄せられました。

北方領土青少年等現地視察支援事業【平成28年7月21日～24日】

福島県民会議の主催により、20名(中学1年生3名、中学2年生3名、中学3年生8名、引率教員4名、福島民友新聞記者1名、事務局1名)の視察団を組織して、3泊4日で実施しました。

本事業は、青少年等を主な構成員とした視察団を北方領土隣接地域に派遣して現地視察等を実施することにより、参加者に北方領土問題を身近な問題として捉えてもらい、返還要求運動を継承していくことを目的とするもので、昨年度に引き続き2回目の実施となりました。

視察団一行は、北方領土隣接地域(根室市、別海町、標津町、中標津町)を訪問し、北方領土(歯舞群島・国後島)の望見、啓発施設の見学、元島民の講話聴講などを通して、北方領土問題への理解を深めました。また、視察中には標津町長を表敬訪問したほか、北辺防衛会津藩士顕彰碑にも立ち寄りました。

参加生徒からは、「解決には国民の関心を高めることが必要。周囲に北方領土のことを広めたい。」「元島民から貴重な話が聞けた。返還運動の機運を高めて、風化を防ぎたい。」等の感想が寄せられ、彼らのような若い世代が返還要求運動を継承していくことが期待されます。



納沙布岬より北方領土を望む



元島民 福澤英雄さんとの記念撮影

北方四島交流訪問事業(一般;都道府県民会議主体)【平成28年7月21日～25日】

本事業は、北方領土返還要求運動関係者等が北方四島を訪問し、各島に在住するロシア人との交流を図り相互理解を深めることにより、北方領土問題の解決促進に資するために実施するもので、都道府県民会議を中心とする全国各地の返還運動関係者等が国後島(1日)と色丹島(2日)を訪問しました。本県民会議からは、小林会長と団体会員のボーイスカウト福島連盟から成澤勝蔵氏が参加しました。

国後島では、日本人墓地の墓参り、正教会及び保育幼稚園の視察、夕食交流会を行いました。色丹島では、住民交流会において訪問団が柔道教室を行い、ロシア側からは空手の演武が披露されました。そのほか、ホームビジット、日本人墓地の墓参り、施設の視察(消防署、図書館、学校、発電所、商店街)、スポーツ交流(ヨーヨー)等を実施しました。

解団式においては、訪問団員から「友好、親善の目標を考えて行動することを心掛けた。目標は達成できた。」「今回の訪問を通して領土返還について決意を新たにしました。」等の声が寄せられました。

(次頁写真提供:(独)北方領土問題対策協会)



ロシア伝統の歓迎のパンをかじる小林会長



日本人墓地の墓参り(国後島)

北海道・東北ブロック連絡協議会【平成28年8月4日】

この会議は、北方領土返還要求運動の推進を図るため、北海道・東北各県の担当者らが一堂に会し、情報の共有や今後の課題等の協議を行うものです。今年度は山形県北方領土返還促進協議会が主管となり、山形市内で開催され、当県民会議からは瀧本理事(兼事務局長)及び事務局員1名が出席しました。

会議では、各道県で開催している道・県大会のプログラムや啓発資材の作成、教育者会議の事業計画など、事前に各道県より提案された議題について率直な意見交換や議論が交わされました。

(写真提供: 山形県北方領土返還促進協議会)



協議会の様子

北方領土青少年交流のつどい【平成28年8月4日～5日】

本事業は、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年の北方領土問題に関する正しい知識の習得、地域における北方領土問題の啓発を図ることを目的に実施されています。今年度は山形県北方領土返還促進協議会が主管となって山形県内で開催され、本県からは南相馬市の中学校より中学2年生2名と引率教員1名が参加しました。

初日は、元島民の体験談などを聴講する研修のほか、終戦直後の色丹島における島民の暮らしを描いたアニメーション映画「ジョバンニの島」の上映会が行われました。

また、2日目には視察研修が実施され、参加者は村山市の最上徳内記念館を視察した後、そば打ちを体験しました。

(写真提供: 山形県北方領土返還促進協議会)



研修を受ける中学生ら

北方領土返還運動全国強調月間【平成28年8月】

8月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、全国で講演会やパネル展などの行事の開催、各種媒体による広報が実施され、積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、北方領土返還に関する県民意識の高揚を図るため、路線バス(福島市及び郡山市内)のフロントマスク啓発広告を実施するなど、運動への理解と参加を広く呼びかけました。また、啓発用のポケットティッシュを作成し、期間中に県庁県民ルーム内で配布しました。



啓発用ポケットティッシュのデザイン

北方領土問題青少年・教育指導者現地研修会【平成28年8月2日～3日】

(独)北方領土問題対策協会の主催により、全国の中学生及び社会科担当教諭等を根室市に集め、北方領土問題に理解と関心を深めてもらい、学校教育現場における北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として実施されました。

福島県からは南会津地方の中学校より中学3年生2名と社会科担当教員1名が参加しました。

研修会では、納沙布岬からの北方領土の視察、啓発施設の見学、元島民の体験談の聴講、北方領土問題に関する模擬授業などが実施され、中学生は壁新聞を作成し、社会科担当教諭は「授業構成案づくり」を行いました。

本県から参加した中学生が作成した壁新聞



北方領土返還要求北海道・東北国民大会【平成28年8月26日】

本大会は、政府の外交交渉を支える国民世論の結集を図ることを目的として札幌市内で開催されました。大会では、返還アピールや元島民の声、元島民後継者道内キャラバン隊長による決意表明があり、大会宣言、大会決議が採択されました。

北海道と東北六県の関係機関、団体より約500名が参加し、本県民会議の小林会長が副大会長を務めました。



札幌日本大学高等学校2年 田代 晶 さんによる返還アピール

都道府県民会議代表者全国会議【平成28年11月30日】

本会議は、各都道府県民会議の代表者が集まり、各県の取組事例の発表や返還要求運動の課題等について話し合うものです。東京都内で開催され、関係者ら約100名が出席しました。

外務省の担当官より「ロシア情勢と日露関係」と題して最近の日露関係を踏まえた講演があり、運動関係者から活発な質疑が行われたほか、独立行政法人北方領土問題対策協会及び都道府県民会議から上半期の啓発事業及び四島交流事業について事業報告があり、課題等について意見交換が行われました。

あいさつをする(独)北方領土問題対策協会 荒川理事長



北方領土返還要求中央アピール行動【平成28年12月1日】

北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会(北隣協)の主催により、北方領土の早期返還への願いを込めて、東京都日比谷公園野外音楽堂から銀座、京橋までアピール行進が実施されました。

出発式には鶴保北方対策担当大臣が出席し、参加者を激励するとともに、「外交交渉を前進させていくためには政府・国民が一丸となって問題解決に向けた取組を進めることが重要です。『今度こそは』という思いを感じている国民の皆さんと一緒にわれわれの思いを世界に発信していこう。」と決意を述べました。

国民の総意の証として全国47都道府県旗を一堂に集結し、元島民や全国の返還運動関係者ら約500名が参加しました。本県民会議からは瀧本事務局長ほか3名が参加し、福島県旗を掲げて行進しました。



出発式の様子



都道府県旗を掲げて行進する参加者

北方領土パネル展【平成29年2月6日～10日】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、2月6日～7日にコラッセふくしま(福島市)、2月8日～10日に県庁舎内連絡通路において「北方領土パネル展」を開催しました。北方領土の歴史や自然、返還要求運動の取組状況等を紹介するパネルを展示したほか、パンフレットやグッズ(ボールペン、クリアファイル等)を配布しました。

また、コラッセふくしまではクイズラリーを実施して、参加者100名に先着で北海道道東産の歯舞昆布をプレゼントしました。

会場には北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん:エトピリカ(北方領土の周辺海域で生息する海鳥)の女の子」も登場し、来場した方々と交流しました。

パネル展の様子



北方領土返還要求全国大会【平成29年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一体となって北方領土問題の解決を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。本年はで国立劇場で開催され、本県からは6名(県関係者2名、県民会議4名)が参加しました。

式典に出席した安倍内閣総理大臣は、挨拶の中で昨年12月に山口行われたプーチン大統領との首脳会談について触れて、次のとおり述べました。

「プーチン大統領は(会談後の)会見で、関心は経済だけで平和条約は後回しにするという指摘は間違っている、一番大事なのは平和条約の締結だと明言し、さらに、文書で両首脳が平和条約問題を解決する自らの真摯な決意を表明したことを確認しました。」「平和条約の締結は、容易なことではありません。しかし、元島民の皆さんのふるさとへの切実な思いをしっかりと胸に刻み、一步一步、着実に前に進めていく決意です。」



挨拶する安倍内閣総理大臣

大会の最後にはアピールが採択され、北方領土の早期返還を求める国民の固い決意が内外に表明されました。(写真:首相官邸ホームページ)

北方領土返還運動全国強調月間【平成29年2月】

2月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、2月7日の「北方領土の日」を中心に全国各地で積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、福島市におけるパネル展、県内4市(福島、郡山、いわき、会津若松)の路線バスのフロントマスク啓発広告、福島交通飯坂線車内における中吊り広告などを実施したほか、2月7日の「北方領土の日」を周知するために、2月6～7日には県内全域でラジオスポットCMを放送しました。

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町2-16 (福島県総務部県民広聴室内)

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」